

# 公益財団法人日本精神衛生会

## 令和4年度 事業報告書

### 事業の概要

令和4年度は、次の事業を実施した。

#### 1. フォーラム「メンタルヘルスの集い(第37回日本精神保健会議)」の開催

今年度は、「情報とメンタルヘルス～SNSの負の側面と適切な利用を考える～」をテーマに、3年ぶりに東京有楽町の朝日ホールで対面にて開催した。本フォーラムはこれまで、参加は予約不要で行ってきたが、新型コロナウイルス感染症はまだ終息しておらず、事前予約制として参加者の名前と連絡先を把握し、当日は検温、手指の消毒、マスク着用、間隔を空けての着席など感染防止対策を取って開催した。

今回のメンタルヘルスの集いでは、今日、情報の多様化が進み、いわゆる「ニュース」だけでなくSNSを通じて様々の情報が拡散する中で、SNSが人々の行動や社会に及ぼす負の側面を取り上げ、それにどう対応するのか、そのためにはどう利用すればよいのかを考えることとし、以下のような内容で実施した。

本フォーラムは樋口輝彦理事が準備委員長となり、市川宏伸、岡本淳子の両理事に、外部から笹原信一郎(筑波大学)、張賢徳(六番町メンタルクリニック)、山田和夫(東洋英和女学院大学)の各氏が準備委員として参加し企画した。

なお、本フォーラムは「令和4年度健康や命を守る医療の活動」として、公益財団法人JKAよりオートレース公益資金の補助を受けて実施した。

#### メンタルヘルスの集い(第37回日本精神保健会議)

日時：令和5年3月4日(土) 10:30～16:00

テーマ：情報とメンタルヘルス～SNSの負の側面と適切な利用を考える～

内容：特別講演「生きづらさの根源を医療人類学で解明する」

北中淳子(慶應義塾大学文学部教授)

座長 山田和夫(東洋英和女学院大学名誉教授)

シンポジウム「情報とメンタルヘルス

～SNSの負の側面と適切な利用を考える～」

「SNSのメンタルヘルスに及ぼす影響」

張賢徳(日本うつ病センター・六番町メンタルクリニック院長)

「ネットいじめ一家族の立場から」

和泉貴士(まちだ・さがみ総合法律事務所・弁護士)

「実臨床から見える児童・思春期を支配する SNS の功罪」

山田和恵（横浜尾上町クリニック臨床心理士・公認心理師）

「孤独を防ぐ SNS の効果とリスク」

太刀川弘和（筑波大学 災害・地域精神医学教授）

コーディネーター

樋口輝彦（国立精神・神経医療研究センター名誉理事長）

岡本淳子（あいクリニック神田・三田心理臨床研究所）

参加者：203名

なお、このフォーラムの内容は本会の広報誌「心と社会」192号（令和5年6月15日発行）に収録する。

## 2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学や精神保健福祉関連団体等と共催で、地域が直面する精神保健に関する課題等をテーマにシンポジウムを開催しているが、今年度は2年ぶりに対面で下記のとおり実施した。

### ● 78回精神保健シンポジウム（沖縄）

日時：令和4年7月18日（月・祭） 10：30～16：30

会場：那覇文化芸術劇場なは一と1F小劇場

共催：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会

「国による隔離政策を考える」実行委員会

おきなわ障害者人権センター

テーマ：施政権返還50年—未来への回想～国による隔離政策を考える～

内容：映面上映

「夜明け前のうた 消された沖縄の障害者」

：シンポジウム

「施政権返還50年—未来への回想

～国による隔離政策を考える～」

第1部 時男さんの国賠訴訟に連帯する

伊藤時男（長期入院国賠訴訟原告）

藤井克典（NPO法人日本障害者協議会代表）

司会 小浜日登美（自立生活センターインクルーシブ）

第2部 ハンセン病の国賠訴訟に学ぶ

金城幸子（元ハンセン病違憲国賠訴訟原告）

平良仁雄（同上）

山城紀子（ジャーナリスト）

沢 知恵（歌手・ハンセン病療養所の音楽研究者）

司会 高橋年男（公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会）

### 第3部 総合討論

1部～2部の登壇者

糸洲のぶ子（沖縄 YMCA）

参加者 134名

なお、このシンポジウムの内容は本会の広報誌「心と社会」190号（令和4年12月15日発行）に収録した。

### 3. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載した広報誌「心と社会」を次のとおり発行した。

- ① 188号（令和4年6月15日発行） A5判160頁 2000部  
特集 第36回メンタルヘルスの集い  
新型コロナウイルスと女性・家族・社会  
～生きやすい街づくりのためにできること～
- ② 189号（令和4年9月15日発行） A5判124頁 2000部  
特集 強度行動障害の医療・福祉・支援
- ③ 190号（令和4年12月15日発行） A5判120頁 2000部  
特集 第78回精神保健シンポジウム  
施政権返還50年—未来への回想～国による隔離政策を考える～
- ④ 191号（令和5年3月15日発行） A5判128頁 2000部  
特集 若者の今

### 4. 精神保健福祉関係冊子の出版

今年度より林直樹理事が編集委員長となり、高塚雄介理事の他に、外部から小泉典章（長野大学名誉教授）、堀有伸（ほりメンタルクリニック）、宮地尚子（一橋大学）を編集委員に迎え、新たにこころの健康シリーズIXとして「現代の災害とメンタルヘルス」の刊行を開始し、No.1～No.4（各B5判8頁）を以下のよう

- ① No.1 新型コロナウイルス感染症の最前線に立つ医療現場で働く職員のメンタルヘルス 東京都保健医療公社豊島病院 菊岡藤香 著  
令和4年6月発行 2000部
- ② No.2 緊急事態発生時の初期対応の重要性 明星大学名誉教授 高塚雄介 著  
令和4年9月発行 2000部
- ③ No.3 コロナ禍が社会全体のメンタルヘルスに及ぼした影響とその対策 東北大学災害科学国際研究所 國井泰人 著  
令和4年12月発行 2000部

④ No. 4 災害におけるあいまいな喪失

武蔵野大学人間科学部 中島聡美 著

令和5年3月発行 2000部

5. メールマガジンの創刊

当会の活動や関連イベント、精神保健に関わる内外の動向などを発信するメールマガジン「日本精神衛生会こころのメルマガ」を林直樹理事の発案で創刊し、第1号を令和4年11月15日、第2号を令和5年1月20日に配信した。

6. 公益社団法人日本精神保健福祉連盟の一員として、国内の精神保健福祉諸団体と精神保健福祉の推進に協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄

にて世界の精神保健関連情報を紹介した。